

## 耐震診断結果の見方

### 建築物の耐震診断結果【例】

No	建築物の名称	建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果				耐震改修の予定		備考
					内容	実施時期					
○	○○○○○○○○	品川区△△○-○-○○	・・・・	5-6 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨・鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	I <sub>s</sub> /I <sub>so</sub>	1.00	C <sub>TU</sub> ・S <sub>D</sub>	0.60			

①

②

### 耐震診断結果義務付け対象建築物の耐震診断の結果の公表について（技術的助言）【抜粋】

耐震診断の方法	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
	大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。	大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。	大規模の地震※の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。↓
5-6 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨・鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合 IS/ISO < 0.5又は CTU・SD < 0.125・ Z・Rt・G・U	鉄骨が非充腹材の場合 IS/ISO < 0.5又は CTU・SD < 0.14・ Z・Rt・G・U	左右以外の場合 1.0 ≤ IS/ISOかつ 0.25・Z・Rt・G・U ≤ CTU・SD

①耐震診断結果から「耐震診断の方法の名称」を確認し、技術的助言の表から同じ「耐震診断の方法」を探します。

②耐震診断結果から「安全性の評価結果」の数値を確認し、①で探した欄と照らし合わせます。

※照らし合せた結果から耐震診断結果の「安全性の評価（I、II、III）」が決まります。